

審議会の要旨記録

会議の名称	令和6年度 第2回松伏町子ども・子育て支援審議会
開催日時	令和6年7月30日(火) 14時00分～15時15分
開催場所	松伏町役場第二庁舎3階303会議室
出席者氏名	委員：8名 若盛(正)会長、石井委員、今井委員、岡野委員、栗原委員、 小熊委員、庄野委員、若盛(清)委員 事務局：6名 桐課長、齋藤主査、並木主査、鳥井主査 ㈱環境総合研究所：山内、野口
会議の議題	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画事業における進捗状況について (2) 第3期子ども・子育て支援事業計画の計画書の骨子確認 (全体構成と各省項目の概要説明) (3) その他 4. 閉会
会議資料の内容	【資料1】 松伏町第3期子ども・子育て支援事業計画(骨子案) 【資料2】 令和5年度 松伏町子ども・子育て支援事業計画進捗確認シート

委員会における
議事の経過及び
発言の要旨

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画事業における進捗状況について

事務局

資料2に沿って説明

若盛会長

青少年健全育成協議会の運営について、どのようなことを実施したのか説明してほしい。

事務局

7/6(土)に学校の先生や子どもや保護者の方を招いて、善行の中学生1名を表彰した。

作文については小・中学校で各1名ずつ優秀者を出して表彰式を行った。松伏高校でも協議会で審査して1名表彰を行った。

若盛会長

標語は今後どのように町民に伝えるのか。

事務局

標語は松伏町のホームページと8月号の広報に掲載している。

作文は原稿用紙をスキャンしたものを掲載している。

(2) 第3期子ども・子育て支援事業計画の計画書の骨子確認

㈱環境総合研究所

資料1に沿って説明

【意見1】

石井委員

77頁、保育園の一時預かりの量の見込みについて、実際の数字とあまりにもかけ離れている。極端に変更するのも良くないのか。

若盛会長

実績に基づいたものが前提の方が、間違いはないと思っている。ただし、ニーズとしてあるのであれば入れておいた方がいい。

事務局

アンケートの結果と実績が離れていることはある。

アンケートの結果は希望・要望であるため、そのまま取り入れることはない。

【意見2】

今井委員

家庭や学校で先生が教えるだけでなく例えば食育は栄養士など、共に育てることをより一層意識していることが必要と思っている。

若盛会長

学校のことであれば、基本的には教育委員会が担当にはなると思うが、審議会で要望を挙げてもらうことが重要。

【意見3】

栗原委員

48頁の地域における子育て支援の充実について、利用者の数が見たい。

また、75頁の子育て世帯訪問支援事業（訪問による生活の支援）について、もともと係わっている事業だが新設となっている。

事務局

今年度からの児童法改正によって新設された項目になる。町によってはすでに事業を行っている場所もあるため、その場合は改めて新設する必要はない。

【意見4】

岡野委員

候補者の満足の結果が載っていない。アンケートも回答数が50%しか返ってきておらず、納得していないから回答してないのではないか。

事務局

パブリックコメントで意見募集を行う機会は設けている。

岡野委員

満足している保護者はいるのか。

事務局

感謝のコメントもあるが、もう満足ですというコメントは無いため、まだまだやってほしいと感じていると感じている。

岡野委員

コロナ禍になってから、働いていない日は保育園に預けられない状況もあるため、もう少し臨機応変に対応できるように努力をしてほしい。

【意見5】

小熊委員

1点目は学童職員の呼称について、町では指導員になっているが、国では支援員に変わっている。この機会に国に合わせてほしいと思っている。

小熊委員

2点目は85頁（5）小学校の余裕教室等の活用に関する方策について、これから内容変更になる認識でよいか。

事務局

これから内容変更になる認識でよい。

小熊委員

内容が余裕教室に偏っているように思う。放課後児童パッケージでは学校の校舎・敷地内における放課後児童クラブの整備推進になっているが松伏町では、民営を除くすべての学童クラブが敷地内にある。
近隣の市町では敷地外にあるところも多数あるため、現状に合った内容に書き換えが行われてほしい。

小熊委員

3点目は86頁(9)学童クラブの役割をさらに向上させていくための方策について、情報交換を行なっている小学校と連携を密にしとなっているが、松伏町では連携を取っていると思っているため、現状に合った内容に書き換えが行われてほしい。

事務局

文章の見直しは現状や意見を踏まえて行っていく。

【意見6】

若盛委員

P D C Aサイクルの運用について、結果の書き方が抽象的になっている。次の年のP D C Aにつながる切れ目のない計画にするために、結果を具体的にする必要があると思う。

若盛会長

次回の計画に向けて大事なことだと思う。

(3) その他
特になし。

4. 閉会

審議会開催日程

第3回審議会 10月 2日(水) 午後2時から

第4回審議会 12月18日(水) 午後2時から